

# 地域における家族支援の充実 ペアレントプログラムについて

沖縄県発達障害者支援センター



## I. はじめに

## 目次

- I. はじめに
- II. ペアレントプログラムについて
- III. 各回の内容について
- IV. 演習
- V. 県内の取り組み状況

## 改正 発達障害者支援法

平成28年8月1日から施行！

平成17年に施行された「発達障害者支援法」が、改正されました。

「改正発達障害者支援法」3つのポイント

### 1 ライフステージを通じた切れ目のない支援 → 新サポートノート えいぶるの普及

例えば・・・周囲から見てわかりにくい様々な発達障害の特性（見通しが立たないことへの不安、感覚過敏、読み障害、不器用、独り言が出てしまう、言葉が支えて出てこないなど）やそれまで行われていた良い支援（スケジュール提示、別室対応、拡大文字問題冊子、チェック回答、時間延長など）を、関係者が確実に引き継ぐための仕組みを整える。

関係条項 <情報の共有の促進（9条の2）> [新設]  
個人情報の保護に十分配慮しつつ、支援に資する情報の共有を促進

### 2 家族なども含めた、きめ細かな支援 → ペアレント・ プログラムの普及

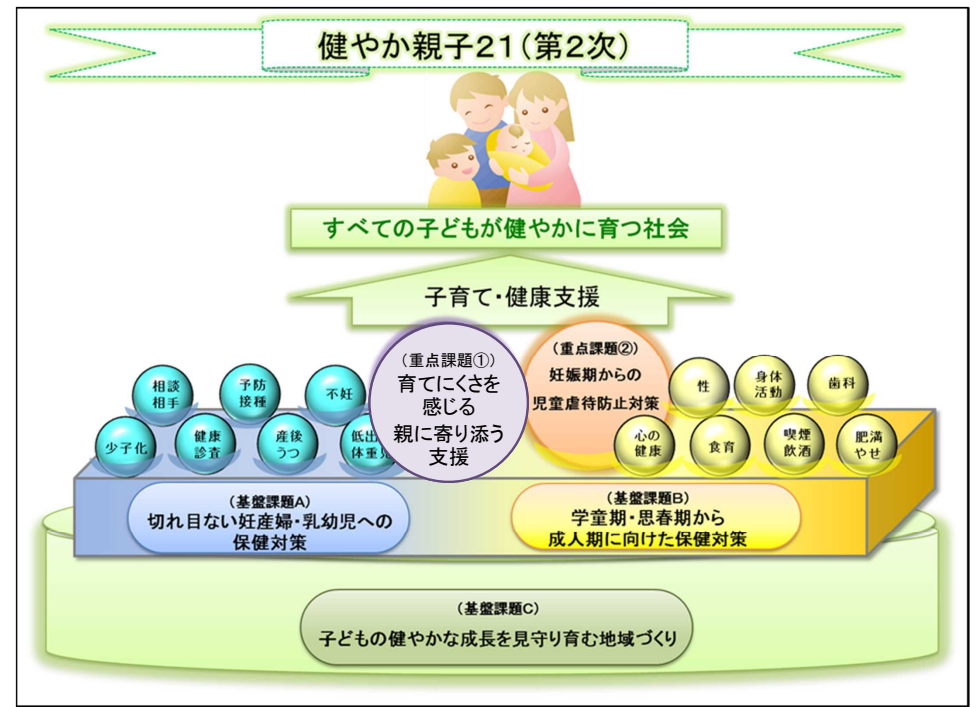
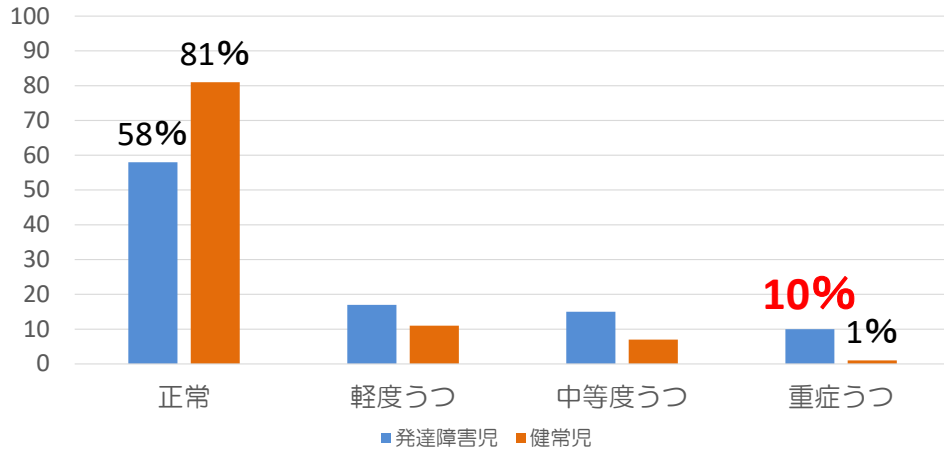
例えば・・・**診断を受ける前から**、保護者（家庭以外の場で育つ子の監護も含める）が、子どもや自分自身の行動を客観的かつ前向きにとらえることを助ける「ペアレント・プログラム」を普及する など

### 3 地域の身近な場所で受けられる支援 → 人材育成・ 普及啓発活動

例えば・・・風邪や虫歯の治療のために通うかかりつけ医や、地域の中でトラブルがあったときに関わる警察官なども、発達障害について一定の知識を持つことや、専門家にサポートを依頼できるようになるための研修等の充実を進める など

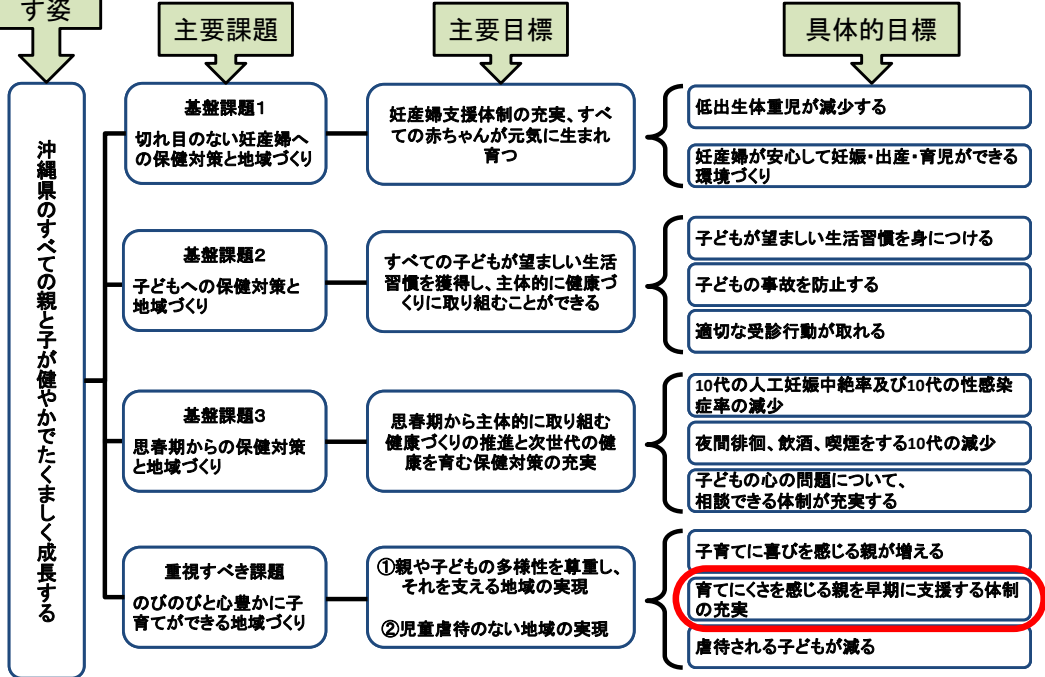
# 家族支援の必要性

発達障害を持つ子どもの親と一般の親の抑うつ度の比較  
(野邑ら, 2010)



10年後に目指す姿

## 健やか親子おきなわ21 (第2次) 体系図



## 家族支援の法的な位置づけ

- 発達障害者支援法施行により、発達障害児への早期の支援として、各市町村は、保護者に対して相談・助言・紹介等を行うことが定められた ( 第三条の2「家族支援について必要な措置を講じること」)
- 「改正 発達障害者支援法」3つのポイントのひとつとして**家族なども含めた、きめ細かな支援**が明確に示された
- 発達障害者支援体制整備事業でも、家族支援として、ペアプロ等の各都道府県等における普及が示された
- 健やか親子21(第2次)における重点課題のひとつとして、「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」が示された
- 第3期 発達障害者支援体制整備計画の重点課題のひとつに「保護者支援」の項目が明記された

地域において、支援を求める保護者が身近なところで子育て支援を受けられるような体制づくりが求められている

## II. パARENTプログラムについて

### パARENTプログラムの目標

#### ポイントは 行動で考える

子どもの「行動」の客観的な捉え方を知り、保護者がどのように対応すればよいのかを見つける。

「元気な子」、「困った子」のような表現で捉えようとするのではなく、「元気に挨拶をする」、「思い通りにならないと泣き叫ぶ」のように動詞で表現することで「行動」として子どもを捉える。

「できないことを叱って気付かせるという従来の子育ての関わりではなく、望ましい行動をとれた時に、その事実を褒めることで子どもができることを増やしていく。

#### キーワードは ほめる対応

子どもの「今できていること」に注目し、ほめて対応する。

#### シェアしよう 仲間づくり

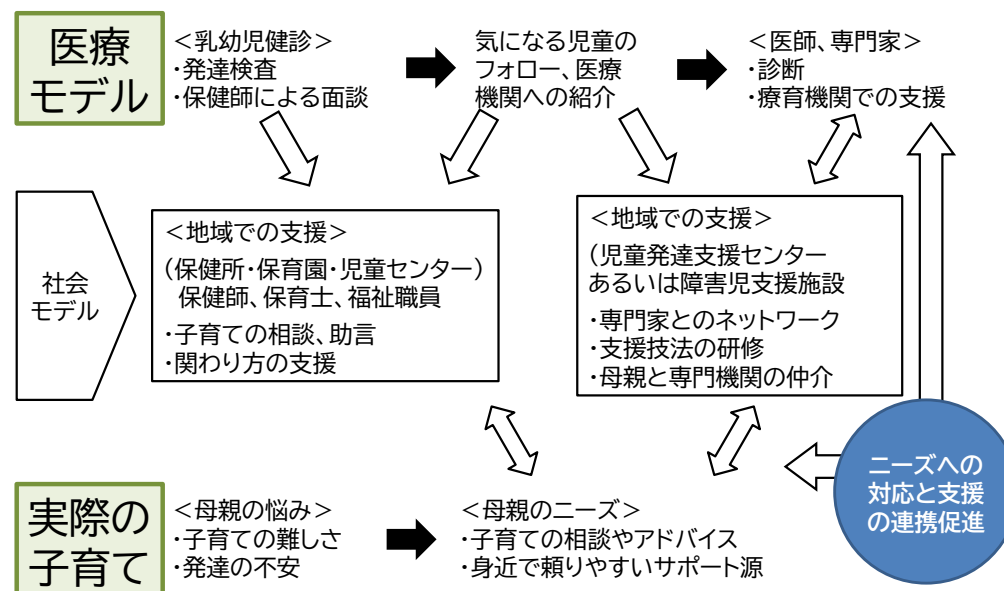
同じ悩みをもつ保護者どうして、子どもの行動やその対応についてともに考え、共有する。

育てにくい子どもを精一杯育てるなかで孤立しがちな保護者が「自分だけではない」と感じて勇気づけられるようにする。

## パARENTプログラムとは

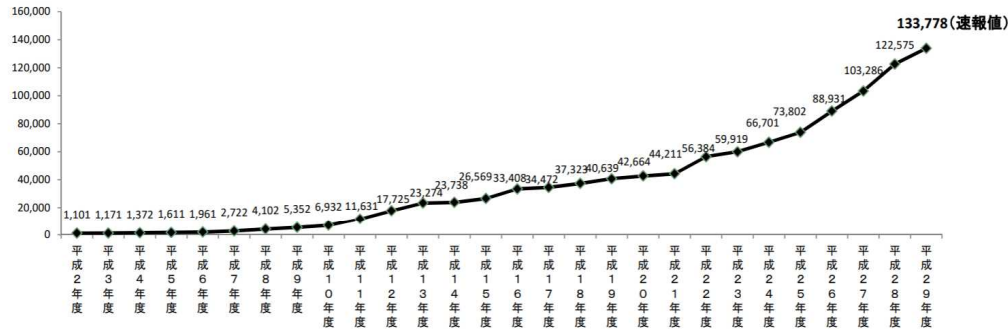
- 子どもの「行動」の客観的な理解の仕方を学び、楽しく子育てに臨む自信を身につけることを目的とした**グループプログラム**
- 子育てに困り感のある保護者を含めた、すべての保護者に活用することが可能(診断は前提としない)
- ※ **発達障がいやその傾向の有無にかかわらず有効**とされる
- プログラムの実施者は、**身近な地域の支援者を想定**  
(保健師や保育士、教師、福祉事業所職員、子育て支援や障害児福祉に関わる民間団体等)
- 隔週で6回を1クールとした3ヶ月間のプログラムを標準とする(1回1時間~1時間半程度)
- 保護者の認知の肯定的な変容を目指した内容で、「説明」+「個人ワーク」+「ペアワーク」で構成。保護者の参加人数は10名程度を想定

### 地域でペアプログラムを実施する意味



# 児童虐待相談の増加

児童虐待相談対応件数の推移



| 年度    | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度   | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度  | 平成28年度  | 平成29年度(速報値) |
|-------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|-------------|
| 件数    | 42,664 | 44,211 | 注 56,384 | 59,919 | 66,701 | 73,802 | 88,931 | 103,286 | 122,575 | 133,778     |
| 対前年度比 | 105.0% | 103.6% | -        | -      | 111.3% | 110.6% | 120.5% | 116.1%  | 118.7%  | 109.1%      |

注) 平成22年度の件数は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値。

ハイリスクアプローチから  
ポピュレーションアプローチへの転換が必要

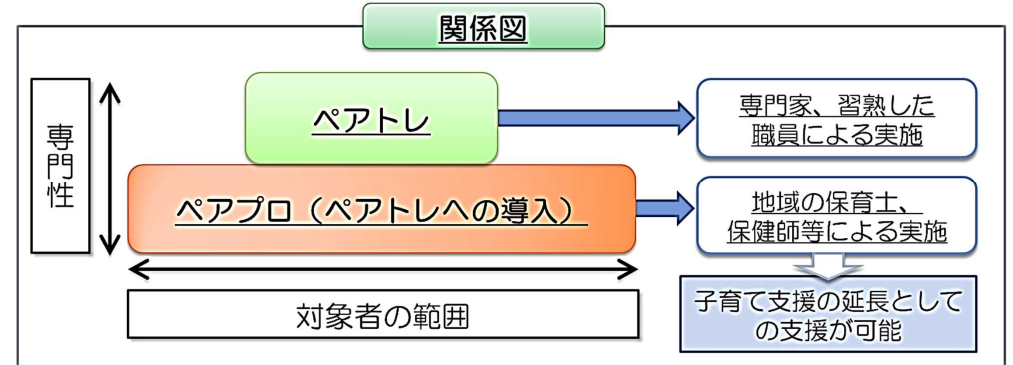
## ⚠️ パARENTトレーニングとの違い ⚠️

### ペアレントトレーニング

親が自分の子どもの行動を冷静に観察して特徴を理解したり、発達障がい  
の特性を踏まえた褒め方や叱り方等を学ぶことにより子どもの問題行動を  
減少させることを目標とする。トレーナーには専門知識が要求される。

### ペアレントプログラム

地域での普及を図る為に開発された、より簡易なプログラム。子どもの行  
動修正までは目指さず、「親の認知を肯定的に修正すること」に焦点を当  
てている。発達障がいやその傾向の有無にかかわらず有効とされている。



## プログラムの流れ

- 全6回
- 宿題発表→説明→ワーク（個人・ペア）→発表→宿題

|     | 各回のタイトル           | 取り組む内容・目標               |
|-----|-------------------|-------------------------|
| 第1回 | 現                 | 子どもの様子を、 <b>行動</b> で捉え、 |
| 第2回 | 行                 | 表現できるようになる              |
| 第3回 | 同                 | 捉えた子どもの <b>行動</b> を整理し、 |
| 第4回 | ギ                 | 良いところ、いまできているところに       |
| 第5回 | ギ                 | 目を向けられるようになる            |
| 第6回 | ペアプロでみつけたことを確認する！ | 次につなげる                  |

Ⅲ 各回の内容について  
～演習してみましょ～

# 第1回 現状把握表を書く！

## 説明

- ◆ 日本の子育て観
  - ・ **叱って気づかせる文化**の中で生きている
  - ・ でも、叱っても気づけない子には、**することを具体的に伝えて伸ばす**ことが大切
  - ・ できることを見つけるために**現状把握表を記入**する
- ◆ 現状把握表は、動詞で具体的に書く

## ワーク

- ◆ 【自分編】いいところ・努力しているところ・困ったところを書く
- ◆ ペアで共有→ペアの方の内容を発表

## 宿題

- ◆ 自分編・子供編をそれぞれ5つずつ書く
- ◆ 身近な大人の家族（配偶者など）」をほめて、反応を見る

## ホワイトボードへの貼り出し例； ワーク説明【第1回】

いいところ ⇒ 普段できているところ

努力しているところ ⇒ 工夫すればできるところ

困ったところ ⇒ すぐには解決できないところ

スペシャルなことじゃなくていいんです♪  
100%毎回ではなく、60~70%できてればOK!

# 現状把握表で書く内容

| いいところ   | 努力しているところ                       | 困ったところ                                |
|---|---------------------------------|---------------------------------------|
| 日常生活を送るために続けてできている行動(適応行動)  | たまにできる行動<br>支援・サポート・工夫があればできる行動 | すぐには改善できない行動<br>困っているのは、本人・周囲のどちらでもよい |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>×人に自慢できる</li> <li>×人より優れている</li> </ul> |                                 |                                       |

【自分編】【子ども編】を作成することで、**子ども理解**に加えて**自己理解**も促す

当たり前に行っていることを、当たり前で認めることで認知の変容を促す！



## ホワイトボードへの貼り出し例； ワーク説明

動詞「～する」で書こう！

- ×明るいところ[形容詞] ⇒ ○明るく挨拶をする
- ×頑固なところ[形容動詞] ⇒ ○自分の意見を通し続ける
- ×だらしない[あいまい] ⇒ ○服を脱ぎっぱなしにする

# 現状把握表(例)

(自分編)  
具体的に書く・行動で書く

| いいところ        | 努力しているところ       | 困ったところ      |
|--------------|-----------------|-------------|
| 大事な人の顔は覚えている | 道はナビを使う         | 人の名前、道を忘れる  |
| 朝6時に起きる      | 忘れそうなことはメモする    | 人の話を時々聞きもらす |
| 困った時は周囲の人に話す | 自信のないペアプロの講義をする | よく忘れ物をする    |

## < 演習 > ※別紙「体験シート」 【第1回】現状把握表を書いてみよう!

1. 現状把握表の【自分編】を記入してみましよう
2. 隣の方とペアになって、記入ができたなら現状把握表を見せ合いましよう。  
簡単に説明しあい、意見交換をしましよう。  
※「行動で書く」ことができているか、お互いにチェックしてみましよう
3. 「いいところ」「努力しているところ」「困ったところ」から発表する項目を1つずつペアの方に決めてもらいましよう  
**👉 発表してみましよう**

## 第1回の演習をしてみましよう

現状把握表 第1回

名前: \_\_\_\_\_ 月 日 ( )

現状把握表【自分編】

| いいところ | 努力しているところ | 困ったところ |
|-------|-----------|--------|
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |

現状把握表【子ども編】

| いいところ | 努力しているところ | 困ったところ |
|-------|-----------|--------|
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |

まずは記入してみましよう  
書き方のコツは、  
動詞で書く! です



## 宿題の内容 (第1回)

今日の宿題

- ①現状把握表を使い、各3つずつ書いてくる  
本日のポイントを踏まえ、行動で書く
- ②ご主人(身近な人)を誉めてくる

次回のペアレントプログラムは、●月●日▲時▲分開始です。現状把握表のコピー(各1部)と、アンケートを記入して持ってきてください。

## 第2回 行動で書く！

### 説明

- ◆ いいところの意味を再度伝える
- ◆ 行動で書くポイントを追加
  - ・ 「～ない」を「～する」へ
  - ・ 1つの文章に1つの行動

### ワーク

- ◆ ほめる宿題の発表、現状把握表の宿題をペアで見せ合う
- ◆ 努力しているところからいいところへの移行
  - 意外と頑張っていることに気づく
- ◆ 困ったところから努力しているところへの移行
  - 気づけている時点で“努力”！

### 宿題

- ◆ 自分編・子ども編の各項目を10個ずつ書く
- ◆ 子どもをほめて、反応を見る

## 「～ない」から「～する」へ 言い換えてみましょう

例. 「走らない。」 →  
「ゆっくり歩く」



① 「Noと言えない。」

② 「片づけられない。」



## いいところ・努力しているところ を判断する目安は？

| いいところ  | 努力しているところ   |
|--|---|
| 目安<br><b>6～7割</b>  | 目安<br><b>1～2割</b>   |
| <b>参加者がイメージしやすいような言い換えを考えてみよう！</b>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1週間のうち4, 5日</li> <li>・ 1週間のうち平日</li> <li>・ 10回あったら6, 7回</li> <li>・ だいたい半分以上<br/>…………など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たまにできる</li> <li>・ たまたまできる</li> <li>・ やろうと思っている</li> <li>・ 手伝ってもらえたらできる<br/>…………など</li> </ul> |

## 第3回 同じカテゴリーを見つける！

### 説明

- ◆ 行動を分類することで、自分や子どもの頑張り・困っているところの傾向をつかむ

### ワーク

- ◆ ほめる宿題の発表、現状把握表の宿題をペアで見せ合う
- ◆ 書き出した行動にカテゴリー名をつける（つくる）
  - ・ 自分編 家事・健康管理・対人関係・仕事…など
  - ・ 子ども編 食事・友達関係・行動の調節…など
- ◆ カテゴリーの特徴をペアで見つけ合う→発表
  - どんなカテゴリーがあるか、どのカテゴリーに何が多いか…など

### 宿題

- ◆ 現状把握表をカテゴリー分けする（自分編・子ども編）
- ◆ 子どもをほめてみて、反応を見る

## 傾向に気づく： 同じカテゴリーを見つける

| いいところ]                | 努力しているところ              | 困ったところ                  |
|-----------------------|------------------------|-------------------------|
| 絵本を読み、セリフを言いたがる<br>言葉 | 妹におもちゃを貸すことがある<br>人    | 思い通りにならないと、物を投げる<br>気持ち |
| 近所の人にあいさつができる<br>人    | お箸で食べようとする<br>食事       | スーパーで走り回る<br>行動         |
| ひとりでスプーンで食べられる<br>食事  | 他の子によく話しかける<br>友達      | ほしいものがあると駄々をこねる<br>気持ち  |
| おまるでおしっこができる<br>トイレ   | 「うんち」と知らせることがある<br>トイレ | 他の子を叩く<br>友達            |

## 傾向に気づく： 同じカテゴリーを見つける

| カテゴリー | いいところ           | 努力しているところ       | 困ったところ           |
|-------|-----------------|-----------------|------------------|
| 言葉    | 絵本を読み、セリフを言いたがる |                 |                  |
| 対人    | 近所の人にあいさつができる   | 他の子によく話しかける     | 他の子を叩く           |
| 食事    | ひとりでスプーンで食べられる  | お箸で食べようとする      |                  |
| トイレ   | おまるでおしっこができる    | 「うんち」と知らせることがある |                  |
| 気持ち   |                 |                 | 思い通りにならないと、物を投げる |
|       |                 |                 | ほしいものがあると駄々をこねる  |
| 行動    |                 |                 | スーパーで走り回る        |

## 第4回 ギリギリセーフを見つける！

### 説明

- ◆ 困ったところの中から、日常生活を送るためになんとかやれていること＝**ギリギリセーフ（対処行動）**を探すことで、今まで「できない」と思って（思い込んで）いたことの中に、**できていることもあるという発見**がある
- ◆ 子どもの発達段階や特性によってはギリギリセーフが見つからない場合もある＝保護者が手伝うことで子どもがなんとかやれている  
→ **【自分編】のいいところ・努力しているところに追加**

### ワーク

- ◆ ほめる宿題の発表、現状把握表の宿題をペアで見せ合う
- ◆ ペアでギリギリセーフを見つける→発表

### 宿題

- ◆ ギリギリセーフを探す（見つからなければそのままよい）
- ◆ 子どもをほめてみて、反応を見る
- ◆ 身近な大人の家族（配偶者など）に表を見てもらい感想を聞く

## ギリギリセーフを見つけてみよう

片付けができない！

家がきたない！



えっ！来週、家庭訪問！？



見える場所だけ掃除した！



（片付けができない…けれども）  
来客があるときは  
見えるところは掃除する

ダイエットできない！

ケーキおいしそう！



でも昨日ポテチ食べたし…



今日はジュースだけにしよう



（おやつを食べすぎる…けれども）  
食べすぎた次の日は  
ジュースでガマンする



# 現状把握表

| いいところ                      | 努力しているところ   | 困ったところ               |
|----------------------------|---|----------------------|
| 困った時は<br>周囲の人に話す           | 自信のないペアプロの<br>講義をする<br><br>・玄関の目立つ所に置く<br>・携帯スケジュール表に<br>書き込む | よく忘れ物をする             |
| ごはんをつくる                    | 週に何度かお弁当をつくる<br><br>期限間近で冷凍保存する<br>ようになっている                   | 冷蔵庫の食材を<br>腐らせることがある |
| (書類の山が)<br>雪崩になる前に<br>片付ける | 隣の人の机に、はみ出さ<br>ないようにしている                                      | 机の上の書類が<br>山になる…     |

ギリギリセーフ



## 第2回の演習をしてみましょう

現状把握表 第1回

名前: \_\_\_\_\_ 月 日 ( )

現状把握表【自分編】

| いいところ | 努力しているところ | 困ったところ |
|-------|-----------|--------|
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |

現状把握表【子ども編】

| いいところ | 努力しているところ | 困ったところ |
|-------|-----------|--------|
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |
|       |           |        |

困ったこと、努力しているところから、少しでもできているところ(ギリギリセーフ)を探そう!



## 演習2 ギリギリセーフを見つけて記入した現状把握表をお隣の方と見せ合いっこしましょう♪

- ・現状把握表のギリギリセーフを見つけよう
- ・隣の参加者同士ペアになって、現状把握表を見せ合い、意見交換をしましょう。「ぎりぎりセーフ」を見せ合ってチェックしましょう。

困ったことを“なくす”というのではなく、“ちょっとでもできているところ”=「子どもが頑張っていること」なので、それを見つけていく! ※保護者の観察力を高める!

## 第5回 ギリギリセーフをきわめる!

### 説明

- ◆ ギリギリセーフが見つかりにくい、困ったところの中で「いつ」「どこで」「誰と」「何を」するときに、ギリギリセーフが起こりにくいのか=「デンジャラス・〇〇」を見つける
- ◆ デンジャラス・〇〇以外の状況ではギリギリセーフを見つけやすい

### ワーク

- ◆ ほめる&見せる宿題の発表、現状把握表の宿題をペアで見せ合う
- ◆ 困ったところの中で、デンジャラス〇〇を探す
- ◆ デンジャラス〇〇以外(反対)の状況を想定し、ギリギリセーフを探す(増やす)→発表

### 宿題

- ◆ 現状把握表を完成させる(ギリギリセーフ、デンジャラス〇〇を書き込む)
- ◆ 身近な大人の家族(配偶者など)に表を見てもらい感想を聞く
- ◆ 子どもをほめてみて、反応を見る

# ギリギリセーフをきわめる！

「困ったところ」が起こる環境を把握する

- いつ → デンジャラス・**タイム**
- どこで → デンジャラス・**ゾーン**
- だれと → デンジャラス・**パーソン**
- なにをするとき → デンジャラス・**タスク**

- 環境調整の視点を理解

先手が打てる！  
(予防的な対処が可能)



## 各回のふりかえり

- 現状把握表のチェック
  - 行動で書けているか
  - 虐待的な記述、極端に自己否定的な記述があるか
- ペアワークの様子
  - 盛り上がっていたか
  - 違う内容に脱線しすぎていなかったか
  - 一方だけが話しすぎていなかったか
- 子どもの様子（託児がある場合）
  - 発達（言葉、大人や他児との関わり、特性 etc.）
  - 親子の関わりの様子（分離・再会時）  
→ 個別の支援・フォローにつなげる必要性の把握

次回の  
ペア決め

## 第6回

### ペアフロで見つけたことを確認する！

#### 最終回のまとめ

- ◆ プログラム参加に対するねぎらい
- ◆ プログラムの復習
- ◆ 今後のフォローの場について  
地域で利用可能な相談機関や支援の場を紹介する

#### ワーク

- ◆ ほめる&見せる宿題の発表、
- ◆ 現状把握表の完成版を、1回目に作成したものと比較し、ペアで意見交換・発表する  
→ 自分の見方の変化、子どもの成長に気づく
- ◆ 6回のグループ参加を通した感想を聞く（体験の共有）
- ◆ **修了証を渡す！**

「参加してよかった！また何かあったら相談してみよう」  
と思われるような雰囲気づくりが大事

## 宿題の目的

- 身近な家族に働きかける  
→ 子育てのサイクルに巻き込み、**味方をつくる**  
→ 自分の働きかけが変わると、相手の反応が変わることを体験する
- 家で現状把握表を完成させる  
→ 家庭でも“枠組み”に沿って考える習慣をつける
- **実践する癖**をつける

お話を一度聞くだけでは考え方は変わらない  
6回+宿題によって**体験的に理解する**

# ペアレント・プログラム マニュアル

(発行：アスペ・エルテの会)

読んでおきましょう

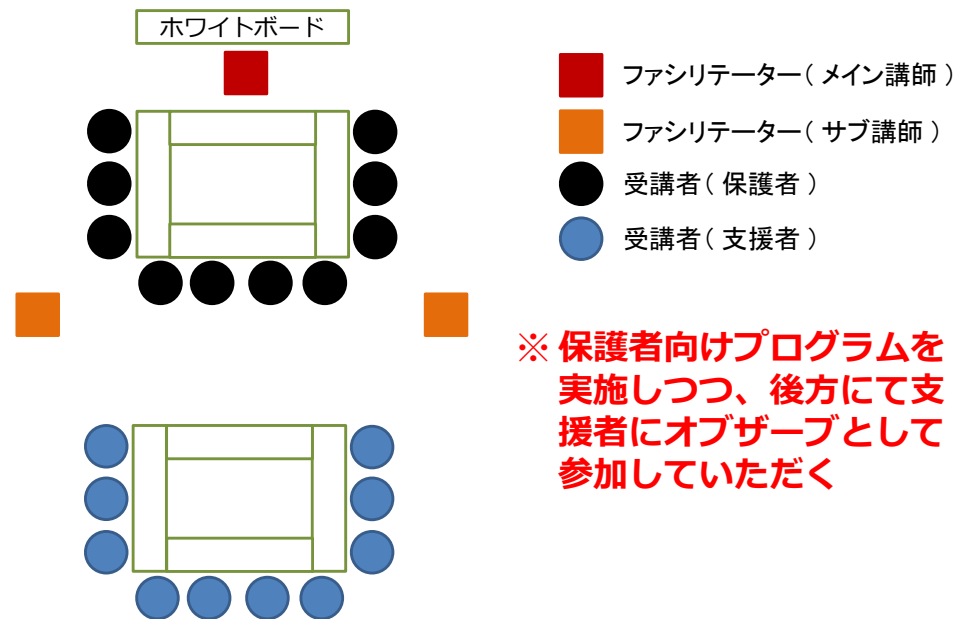
- ・ 各回の内容
- ・ 何を話せばよいか
- ・ 現状把握表でチェックすること
- ・ ワーク実施上のポイント

活用しましょう

- ・ 現状把握表
- ・ 配布資料
- ・ 修了証



## 実施レイアウト(例)



## 西原町学童支援員向け実施の風景



## 託児の風景



# 託児について

- 託児スタッフ：母子保健推進員 放課後児童クラブ支援員  
ファミリー・サポート・センター 等  
※全体フォローとして発達障害者支援センター（保育士）

- 託児の役割：① 受講者のプログラム参加の保障  
② 期間中の子どもの様子・変化のフィードバック

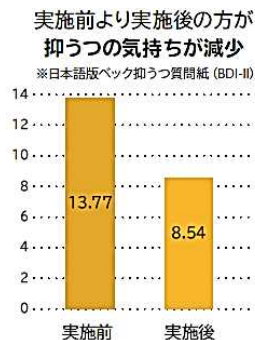
【ねらい】 受講しやすい環境づくりとともに、子どものよいところに気づく  
機会の提供

- 託児スタッフ事前学習会の開催：「託児における子どもの関わり」
- 託児マニュアル（プログラム案含む）の作成
- 子どもの様子シートへの記入や、ふりかえりの時間の設定
- 発達障害者支援センター（保育士）によるバックアップ

【ねらい】 託児の場を、保育従事者等の技術向上の機会として位置付け

# ペアレントプログラムの効果

- ・ 保護者の抑うつ状態が改善された
- ・ 育てにくさを感じなくなった
- ・ 子どもへの対応を難しく思わなくなった
- ・ 子どもをほめることが増えた
- ・ 子どもを叱ることが減った



## 参加した保護者の感想 ①

### 【子どもについて】

- ・ 子どもも自分なりに頑張っていることがたくさんあると気づきました。
- ・ 今できていないことに対して許せるようになってきた。この子なりのペースで成長していくんだと将来に対して楽観的なイメージを持てるようになった。
- ・ 3か月前はイライラが大きかったのですが、良いところを見つけては、少しずつ優しい気持ちが出てきて、普段よりは穏やかな気持ちで対応できたと思います。
- ・ 紙に書き出して考えることで、より分かることがある。普段の何気ない行動が子どもの努力しているところ、良いところに実は繋がっていたことに気づいた。

## 参加した保護者の感想 ②

### 【自分自身について】

- ・ もっと頑張らないといけないと他人と比べて焦っていたが、自分でもいいんだ、自分なりに頑張ってるかもと思えるようになった。
- ・ 不安だった。誰にも話せなかったのが、ここでは話していいんだと思えて、気持ちが楽になった。
- ・ 他のお母さんと楽しく話せたのが良かった。お母さん同士の話で参考になることがたくさんあった。
- ・ どの親も頑張っているんだと知り、勇気づけられた。子育てに少しは前向きになれた。

# 県内の取組状況

- 【目的】 ・ 障害児等の保護者等支援のため、ペアレント・プログラムを県内に普及
- 【効果】 ・ ペアレント・プログラムは、保護者の自己肯定感の向上や抑うつ軽減等に効果があるとされ、厚労省も推奨
- ・ 保育士等の支援者がプログラムを受講した場合、相談・助言スキル向上にも寄与



## 研修型プログラム

地域の支援者に、座学による事前研修および1クール全プログラムを保護者と一緒に参加をしてもらう実地研修。

支援者は単に見学の形で参加するだけではなく、実際の演習に取り組み、講師の保護者への関わり方や、声かけ、ワークをともに考えることを通して、プログラムの進行および保護者支援技術を学ぶ。

## 北部圏域におけるペアレントプログラム普及の流れ

### 【平成28年度 平成29年度】展開①

北部圏域障害者自立支援連絡会議療育・教育部会の構成員を中心に中核支援者と位置づけ、研修型プログラムを実施。29年度からは名護療育医療センターが中核を担い、下半期魏の大宜見村で実施

### 【平成30年度 令和元年】展開③

名護療育医療センターを中心に、他市町村等への普及を推進する。国頭村にて、下半期実施し国頭村は巡回等支援事業にて定期開催となる

### 【令和3年・令和4年度以降】展開④

- ・名護市・本部町にて中核支援者を中心にペアレントプログラムを実施し名護市は今後地域の児童発達支援センター中心に展開予定。
- ・国頭村・東村・大宜見村の3村合同実施を予定(巡回支援専門員整備事業を活用)
- ・今帰仁村にて令和5年度実施検討

## 中部圏域における ペアレントプログラム普及の流れ

### 【平成29年度・平成30年度】展開①

福祉事務所主催の圏域別研修にてペアプロの周知を目的とした啓発研修を実施。年度末にペアプロ実施に関する意向調査を実施し、結果をもとに研修型プログラム実施に向けた協議・調整を実施。30年度に宜野湾市をモデルとし、研修型プログラムを実施し中部の療育等支援事業所にて展開をスタート

【令和元年度②】宜野湾市は引き続きペアプロを実施。また、障害児療育等支援事業受託事業所の研修型プログラムを受講した支援者が、学童クラブにて下半期実施。さらに、沖縄市も下半期ペアプロ実施。引き続き、関心のある事業所や他市町村等への普及を推進する。

### 【令和2年度・令和3年度】展開③

療育等支援事業により北中城村・恩納村にて人材育成を兼ねて実施。  
北中城村は事業展開、令和4年度 恩納村も事業展開予定

## 宮古圏域における ペアレントプログラム普及の流れ

### 【平成29年度】展開①

宮古島市および多良間村にてペアプロの周知研修、中核支援者向け説明会を開催。平成30年度、宮古福祉事務所を事務局として、研修型プログラムの実施(下半期)に向けて検討予定。

### 【平成30年度】展開②

宮古島市にて研修型プログラム実施。中核支援者(障害児等療育支援事業受託事業者、児童家庭支援センター等)のプログラム受講を想定。令和元年度より自立支援連絡会議に療育・教育部会を設置し、同部会内に中核支援者を構成員としたペアレントプログラム普及ワーキンググループ(ペアプロWG)を発足。

### 【令和元年度以降】展開③

引き続き、宮古福祉事務所を事務局とし、宮古島市にて研修型プログラムを実施。ペアプロWGを中心に、コロナで中止もあったが、令和4年度宮古福祉事務所と宮古島市にて実施

## 南部圏域における ペアレントプログラム普及の流れ

### 【平成28年度】展開①

管内母子保健関係者研修会および担当者会議にてペアプロの周知および各市町村の現状・課題を把握し、モデル事業に向けた調整を実施

### 【平成29年度】展開②

モデル市町村として西原町にて研修型プログラムを実施。下半期、糸満市にて研修型プログラムを実施。実施を検討している市町村の支援者に受講してもらう。

### 【平成30年度】展開③

下半期、プログラム開発元のアスペ・エルデの会より講師を招聘し、八重瀬町にて研修型プログラム実施。同下半期より、糸満市は児童発達支援センターへ委託実施。

### 【令和元年度以降】展開④

糸満市は継続開催。引き続き、関心のある事業所や他市町村等への普及を推進する。

## 八重山圏域における ペアレントプログラム普及の流れ

### 【平成28年度】展開①

圏域障害者自立支援連絡会議 療育・教育部会にてペアプロの周知を目的とした学習会を実施。家族支援の必要性について確認し、平成29年度からの研修型プログラム実施に向けた協議・調整を実施。

### 【平成29年度】展開②

圏域療育・教育部会の構成員を中心に中核支援者と位置づけ、研修型プログラムを実施。実施後、同部会内に中核支援者を構成員としたペアレントプログラム普及ワーキンググループ(ペアプロWG)を発足。

### 【平成30年度】展開③

ペアプロWGバックアップの元、NPO法人にて研修型プログラム実施。

### 【令和元年度】展開④

ペアプロWGバックアップの元、与那国町にて支援者向け研修として開催。石垣市でも予算化し、下半期に児童発達支援事業所にて実施。引き続き、関心のある事業所や他市町村等への普及を推進する。

### 【令和2年度以降】展開⑤

石垣市では事業所にて事業化が継続実施中

# ペアレントプログラム 普及の目標

- 地域の支援者（保健師、保育士、事業所職員等）が、家族支援を行えるようになること  
※ペアプロの実施のみならず、現状把握表による課題分析等のエッセンスを支援技術のひとつとして活用することも含む
- 発達障害支援に限らず、一般的な子育て支援の枠組み等、柔軟な事業立て、人材育成等の支援を目指す  
→そのためには、障害福祉、母子保健、子育て支援、教育等、多様な関連部署が連携することが重要

ご清聴 ありがとうございました  
今後とも宜しくお願いします！



ホームページも  
のぞいてみてくださいね！

沖縄県発達障がい者支援センターがじゅま〜る

沖縄市比屋根5-2-17（沖縄中部療育医療センター内）

TEL：098-982-2113

E-MAIL：[gajyumaru@shoni.or.jp](mailto:gajyumaru@shoni.or.jp)

URL：<http://www.shoni.or.jp>



## 参考資料等

- 『楽しい子育てのためペアレント・プログラム・マニュアル 2015-2020』（NPO法人アスペ・エルデの会）
- 発達障害情報・支援センターホームページ（事業化マニュアル、チラシが載っています）
- 辻井正次（2014）ペアレント・プログラム入門. 臨床心理学. 14(1)-(6)
- 浜田 恵（2016）発達早期の親支援におけるアセスメント. 臨床心理学. 16(2), 156-159.
- チャイルドヘルス 2017年6月号 特集：ペアレント・プログラム
- アスペ・エルデの会ホームページ（ペアレント・プログラムのページ）<http://www.as-japan.jp/>